

08 APR 2005

0/531083

特 許 協 力 条 約

PCT

国際予備審査報告

(法第12条、法施行規則第56条)  
[PCT36条及びPCT規則70]

REC'D 26 NOV 2004

WIPO

PCT

出願人又は代理人 の書類記号 PCT-03Z-124	今後の手続きについては、国際予備審査報告の送付通知(様式PCT/ IPEA/416)を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JPO3/12804	国際出願日 (日.月.年) 06.10.03	優先日 (日.月.年) 10.10.02
国際特許分類(IPC) Int. Cl. G02F1/133, G09G3/36, G09G3/20		
出願人(氏名又は名称) 三洋電機株式会社		

1. 国際予備審査機関が作成したこの国際予備審査報告を法施行規則第57条(PCT36条)の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で 3 ページからなる。
- ☒ この国際予備審査報告には、附属書類、つまり補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関に対してした訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面も添付されている。  
(PCT規則70.16及びPCT実施細則第607号参照)
- この附属書類は、全部で 2 ページである。

3. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。

- I ☒ 国際予備審査報告の基礎
- II ☐ 優先権
- III ☐ 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
- IV ☐ 発明の単一性の欠如
- V ☒ PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての見解、それを裏付けるための文献及び説明
- VI ☐ ある種の引用文献
- VII ☐ 国際出願の不備
- VIII ☐ 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 10.03.2004	国際予備審査報告を作成した日 08.11.2004	
名称及びあて先 日本国特許庁(IPEA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区霞が関三丁目4番3号	特許庁審査官(権限のある職員) 右田 昌士	2X 9513
	電話番号 03-3581-1101 内線 3293	

様式PCT/IPEA/409(表紙)(1998年7月)

BEST AVAILABLE COPY

## I. 国際予備審査報告の基礎

1. この国際予備審査報告は下記の出願書類に基づいて作成された。(法第6条(PCT14条)の規定に基づく命令に  
応答するために提出された差し替え用紙は、この報告書において「出願時」とし、本報告書には添付しない。  
PCT規則70.16, 70.17)

☐ 出願時の国際出願書類

- ☒ 明細書 第 1-10 ページ、  
明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、  
明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ、  
出願時に提出されたもの  
国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
付の書簡と共に提出されたもの
- ☒ 請求の範囲 第 3-5 項、  
請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、  
請求の範囲 第 \_\_\_\_\_ 項、  
請求の範囲 第 1, 6-7 項、  
出願時に提出されたもの  
PCT19条の規定に基づき補正されたもの  
国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
06.08.2004 付の書簡と共に提出されたもの
- ☒ 図面 第 1-17 ページ/図、  
図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、  
図面 第 \_\_\_\_\_ ページ/図、  
出願時に提出されたもの  
国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
付の書簡と共に提出されたもの
- ☐ 明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、  
明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、  
明細書の配列表の部分 第 \_\_\_\_\_ ページ、  
出願時に提出されたもの  
国際予備審査の請求書と共に提出されたもの  
付の書簡と共に提出されたもの

2. 上記の出願書類の言語は、下記に示す場合を除くほか、この国際出願の言語である。

上記の書類は、下記の言語である \_\_\_\_\_ 語である。

- ☐ 国際調査のために提出されたPCT規則23.1(b)にいう翻訳文の言語  
☐ PCT規則48.3(b)にいう国際公開の言語  
☐ 国際予備審査のために提出されたPCT規則55.2または55.3にいう翻訳文の言語

3. この国際出願は、ヌクレオチド又はアミノ酸配列を含んでおり、次の配列表に基づき国際予備審査報告を行った。

- ☐ この国際出願に含まれる書面による配列表  
☐ この国際出願と共に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された書面による配列表  
☐ 出願後に、この国際予備審査(または調査)機関に提出された磁気ディスクによる配列表  
☐ 出願後に提出した書面による配列表が出願時における国際出願の開示の範囲を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった  
☐ 書面による配列表に記載した配列と磁気ディスクによる配列表に記載した配列が同一である旨の陳述書の提出があった。

4. 補正により、下記の書類が削除された。

- ☐ 明細書 第 \_\_\_\_\_ ページ  
☒ 請求の範囲 第 2 項  
☐ 図面 図面の第 \_\_\_\_\_ ページ/図

5. ☐ この国際予備審査報告は、補充欄に示したように、補正が出願時における開示の範囲を越えてされたものと認められるので、その補正がされなかったものとして作成した。(PCT規則70.2(c) この補正を含む差し替え用紙は上記1.における判断の際に考慮しなければならず、本報告に添付する。)

## V. 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての法第12条(PCT35条(2))に定める見解、それを裏付ける文献及び説明

## 1. 見解

新規性(N)	請求の範囲	1, 3-7	有
	請求の範囲		無
進歩性(IS)	請求の範囲		有
	請求の範囲	1, 3-7	無
産業上の利用可能性(IA)	請求の範囲	1, 3-7	有
	請求の範囲		無

## 2. 文献及び説明(PCT規則70.7)

- 文献1: JP 2001-265298 A (三星電子株式会社)  
2001.09.28 & EP 1122711 A2
- 文献2: JP 7-121143 A (カシオ計算機株式会社)  
1995.05.12
- 文献3: JP 7-212961 A (日本電装株式会社)  
1995.08.11
- 文献4: JP 2002-116741 A (オプトレックス株式会社)  
2002.04.19
- 文献5: JP 2000-81607 A (株式会社デンソー)  
2000.03.21
- 文献6: JP 2001-28697 A (キヤノン株式会社)  
2001.01.30

請求の範囲1, 4-5に係る発明は、国際調査報告で引用された文献1-3により進歩性を有しない。文献3の第35段落、図7に記載されている、温度によりルックアップテーブルを切り替える際にヒステリシス特性を持たせる駆動方法を、文献2(請求項1-4, 第45-48段落、図1を参照)に記載されている上記のオーバードライブ駆動方法に適用した上で文献1において適用することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲3に係る発明は、文献1-3と国際調査報告で引用された文献4とにより進歩性を有しない。ルックアップテーブルを用いる場合に補間データを用いることは文献4の第27段落に記載されている様に周知の事項であり、このことを文献2に記載されている上記のオーバードライブ駆動方法に適用した上で文献1において適用することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲6, 7に係る発明は、文献1-4と国際調査報告で引用された文献5-6とにより進歩性を有しない。補間データと非補間データとを併用することは文献5の第33段落及び第39段落、文献6の第35段落に記載されているように周知の事項であり、このことを文献2に記載されている上記のオーバードライブ駆動方法に適用した上で文献1において適用することは、当業者にとって容易である。

請求の範囲

1. (補正後) フレームメモリとルックアップテーブルとを用いてオーバドライブ  
 5 を行う液晶パネル駆動装置において、前記ルックアップテーブルを温度に対応  
 して複数種類設け、周囲の温度を示す情報に基づいて、前記ルックアップテー  
 ブルを選択的に切り替えて用い、温度情報に基づいてルックアップテーブルを  
 切り替える際、ヒステリシス特性を持たせるように構成したことを特徴とする  
 液晶パネル駆動装置。
2. (削除)
- 10 3. 第1の温度に対応した第1のルックアップテーブルと前記第1の温度の上また  
 は下の第2の温度に対応した第2のルックアップテーブルとを用いて、前記第  
 1の温度と第2の温度の間の温度に対応した補間用のオーバドライブ量を演  
 算で求めることを特徴とする請求項1記載の液晶パネル駆動装置。
- 15 4. 前記複数のルックアップテーブルを記憶した第1の記憶装置と、前記第1の記  
 憶装置から読み出したルックアップテーブルを記憶する前記第1の記憶装置  
 よりも記憶容量が小さい第2の記憶装置を備え、周囲の温度を示す情報に基づ  
 いて、前記第1の記憶装置から周囲温度に応じた所定数のルックアップテー  
 ブルを前記第2の記憶装置に読み出すことを特徴とする請求項1記載の液晶パ  
 ネル駆動装置。
- 20 5. 前記第1の記憶装置から前記第2の記憶装置にルックアップテーブルを読み出  
 す際に、温度情報に応じた補正処理を施すことを特徴とする請求項4記載の液  
 晶パネル駆動装置。
- 25 6. (補正後) フレームメモリとルックアップテーブルとを用いてオーバドライブ  
 を行う液晶パネル駆動装置において、前記ルックアップテーブルを温度に対応  
 して複数種類設け、周囲の温度を示す情報に基づいて、前記ルックアップテー  
 ブルを選択的に切り替えて用い、ルックアップテーブルにはフレームメモリか  
 ら読み出される前フレームデータの一部と入力データの一部とが供給され、前  
 記入力データのうちルックアップテーブルに供給しない部分とルックアップ

テーブルからの出力データとに基づいてオーバドライブとなるデータを生成するように構成されたことを特徴とする液晶パネル駆動装置。

7. (補正後) フレームメモリとルックアップテーブルとを用いてオーバドライブを行う液晶パネル駆動装置において、前記ルックアップテーブルを温度に対応して複数種類設け、周囲の温度を示す情報に基づいて、前記ルックアップテーブルを選択的に切り替えて用い、ルックアップテーブルにはフレームメモリから読み出される前フレームデータの一部と入力データの一部が供給され、ルックアップテーブルからの出力データはその一部が補完データとなるようにデータ設定されており、前記入力データのうちルックアップテーブルに供給しない部分とルックアップテーブルからの出力データにおける補完データ部分とによって補正データを生成し、この補正データとルックアップテーブルからの非補完データ部分とに基づいてオーバドライブとなるデータを生成するように構成されたことを特徴とする液晶パネル駆動装置。